

承合事項 平成 27 年度の図書館活動について

教育支援、研究支援、社会貢献、管理運営について、現況、トピック、課題などをお知らせください。（広島大学図書館提出 回答例は次頁）

※総会日程の 5. 各館活動報告（14:05～15:00）において、各館より 2 分程度、本回答を基に活動報告を行っていただき、加盟館内の情報共有を図ることを目的としています。

提出大学名： 広島大学

1. 教育支援

- a) 学習環境
 - ・東千田地区でラーニングコモンズ（東千田未来創生センターBIBLA Senda）の設置
 - ・既設の東千田図書館に集密書架を増設。教養教育図書を整備（2年計画の初年度 7,000 冊）
- b) 利用者サービス
 - ・貸出期間の延長（各館で異なっていた期間を最長のものに統一）
 - ・英語多読資料の受入
 - ・広島大学図書館公式 Facebook ページ運用開始（8月～）
- c) ライティングセンター
 - ・大学院生 TA によるライティング相談（日本語文章：832 件 英語文章（10月～）：24 件）
 - ・skype による遠隔キャンパスでのライティング相談開始（11月～ 9 件）
 - ・専任教員による英語論文作成相談の実施 38 件
 - ・ライティングセミナー 8 回開催。参加者計 700 名

2. 研究支援

- a) 電子ジャーナル・データベース
 - ・研究分析ツール SciVal（サイバル）、毎日新聞記事データベース「毎索」導入
- b) 学術情報リポジトリ・電子図書館
 - ・学内発行誌の電子ジャーナルプラットフォームの提供（12 誌）
 - ・研究者総覧と学術情報リポジトリの連携作業推進
 - ・学内発行誌に DOI の付与開始 2,100 件
 - ・教科書コレクションデータベースの拡張事業準備。江戸期から昭和 26 年度までの教科書 5,600 冊のうち 4,000 冊の画像を追加作成・公開し、主要資料へ解題付与。
- c) ライティングセンター
 - ・学内発行誌の英文抄録付与・リポジトリ登録促進のための校正費助成、投稿論文の英文校正費助成。
 - ・国立大学図書館協会賞の受賞（6月）
- d) 出版会
 - ・査読謝金の改定。3 冊刊行（うち 1 冊はオンデマンド出版）
- e) 自動書庫
 - ・研究室からの返却図書受入。約 25 万冊入庫済

3. 社会貢献

- a) 展示・イベント
 - ・地域国際交流プラザでの企画展 10 回開催
 - ・ホームカミングデー企画展開催「古典の日」
- b) 公共図書館連携
 - ・ビブリオバトル地区予選の開催
 - ・広島市立図書館連携事業として講演会、交換研修実施

4. 管理運営

- ・利用者アンケートの実施
- ・学生ボランティア HULS 8月～ 9 名で活動。広報誌、図書の展示、ビブリオバトル
- ・広島大学インターン受入（1 名 2 週間）
- ・図書館活動助成金（寄付金）46 件 46 万 5,000 円

1. 教育支援

- a) 「英語多読コーナー」の充実および授業との連携（担当教員が同コーナーの図書を使う課題を出し、学生が館外貸出により使用）。
- b) 「まんがで読破」シリーズなど、漫画による名作・古典文学等のコーナーの充実。
- c) 視聴覚室の設置（1 部屋・8 席）。
- d) 利用ガイダンスの実施（1 年生の基礎ゼミ単位）。
- e) 定期的に展示コーナーの資料を入れ替え、図書館の利用促進を計る。
- f) 各学科教員選定の基本図書、各研究科教員選定の大学院用図書の整備。

2. 研究支援

- a) リポジトリ登録の推進。
- b) 電子ジャーナル・データベースの導入・整備（日経テレコン 21 など）。
- c) 国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」への参加。

3. 社会貢献

- a) 学外者への開放（閲覧・貸出・「高橋玄洋記念室」の公開）。
- b) 共同リポジトリでの学内成果物の web 公開。
- c) 共同リポジトリでの貴重資料（下垣内文庫）の web 公開。
- d) 公共図書館との相互貸借などの連携。
- e) 近隣の県立高校生の職場体験受入（2 名：8 月下旬の 3 日間）

4. 管理運営

- a) 広報紙「図書館の風」の学内電子掲示板での配信及び図書館ホームページへの掲載。
- b) 学生を対象に雑誌購入アンケートを実施し、ニーズに応じたタイトルに入れ替え。

1. 教育支援

- ・文献検索ガイダンス実施（新入生対象の基礎セミナー 計 10 回）
- ・学修支援アドバイザーによる講習会実施（図書館活用法等 DVD 上映会計 10 回，データベース講習会 4 回，英語フリートーク会 4 回）
- ・データベースオンライン講習会実施 計 46 回
- ・宮島学センター共催企画展示「厳島絵馬鑑」実施（広島キャンパス「博物館展示論」修学生担当）
- ・企画展示実施 計 23 回
- ・教員へ学科推薦図書希望調査，購入図書展示，リストを学生等に配布
- ・選書ツアー開催 3 キャンパス合同 1 回
- ・脱出ゲーム開催 1 回（広島キャンパス）
- ・卒論特別貸出し実施（4 年生のみ通年 通常貸出しとは別途 5 冊貸出可）
- ・試験期間等の臨時開館
- ・ラーニングコモンズに大型ディスプレイ導入（広島キャンパス）

2. 研究支援

- ・学術情報リポジトリ（81 件登録）

3. 社会貢献

- ・一般公開
- ・ひろしまクールシェア（広島県運営）参加（広島キャンパス）
- ・ビブリオバトル地区予選開催（選書ツアーと同時開催）
- ・来いぶらりネット（広島県立図書館運営）参加
- ・職場体験受入

4. 管理運営

- ・蔵書点検実施
- ・利用者アンケート実施

1. 教育支援

- a) ガイダンス
 - ・新入生オリエンテーション
 - ・授業（基礎演習、発展演習）での図書館ガイダンス
 - ・就職情報ガイダンス
- b) ウェブサービス
 - ・文献管理ツール Refworks の導入及び講習会の実施
- c) いちだい知のトライアスロン事業の実施
 - ・図書 50 点、映画 25 点、美術展覧会 15 点を含む計 120 点を走破した 2 人目の「知の鉄人」が誕生
- d) ブックハンティング
 - ・学生と共に書店へ行き、学生目線での選書を実施（2 回）
- e) 本の福袋
 - ・年始に司書がセレクトしたテーマ別の福袋を作成、貸出

2. 研究支援

- a) 電子ジャーナル・データベースの整備
 - ・値上りで予算が厳しい中、現行タイトルを維持
 - ・一部、科研費の間接経費から支出
- b) 研究用図書の管理
 - ・寄贈資料（約 1,600 冊）を受入、不用図書の廃棄（約 800 冊）
- c) 学術情報リポジトリ
 - ・コンテンツ数 74 件増（累積 1,415 件）

3. 社会貢献

- a) イベント
 - ・広島国際映画祭関連トークイベント開催 語り手：部谷京子氏（映画監督）
- b) 公共図書館との連携
 - ・広島市立図書館、県立図書館との図書の相互貸借・情報交換実施
- c) 美術館との連携
 - ・いちだい知のトライアスロン事業として、講演会、展示を実施（4 回）
- d) キャンパス見学等の受入
 - ・県内・県外の中学高校のキャンパス見学を受入・実施（12 回）
 - ・近隣中学校からの職場体験受入

4. 管理運営

- a) 図書館システム
 - ・全館対象に IC タグを導入後初めての蔵書点検を実施
- b) 広報等
 - ・ツイッターでの展示情報、新着図書情報等の配信
 - ・附属図書館報「知恵の樹」発行（年 4 回）
- c) 除籍本の有償譲渡
 - ・除籍本を教員→学生の順に有償譲渡後、リユース市（大学祭初日開催）にて一般市民に販売

1. 教育支援

- ・学生向けガイダンスのカリキュラム化（都市経営学部 1 年次で必修）
- ・個別ガイダンスをアラカルト方式で実施
- ・ガイダンスに iPad を導入し、一人 1 台配布して検索実習を実施
- ・選書ツアー及び視聴覚資料の選定アンケートを実施し、蔵書の選定に学生が参画
- ・選書ツアー参加者を次回の企画運営グループとして組織し、学生の主体的な選書ツアーを実施
- ・ビブリオバトルの実施
- ・ノート PC の貸出サービスの実施
- ・長期休業期間中の特別貸出（期間・冊数増）
- ・レファレンス協同データベース事業に参加
- ・グループ学習室に電子黒板を設置
- ・多様な企画展示の実施（絵本等の授業成果物・長期休暇前の展示・選書ツアー展示・文芸系サークルによる展示等）
- ・新着図書 of 表紙コピーのポスター掲示（学食、学内各所を週替わりで巡回掲示）
- ・オープンキャンパスでの多様な企画及び展示の実施
- ・教育実習用の資料やレポート指定資料をカウンターに設置
- ・学内他部署（教育支援センター、キャリアデザインセンター）への図書資料の貸出

2. 研究支援

- ・グローバル ILL（日米）サービスの提供
- ・電子ジャーナル、データベースの提供
- ・CiNi 機関定額制の契約
- ・共同リポジトリへの紀要論文の登録及び DOI の付与
- ・紀要刊行への参画（編集委員として）
- ・広島県立図書館との相互貸借、インターネット予約
- ・読売新聞 CD-ROM/DVD-ROM（明治～戦後 I）の購入
- ・契約データベースの講習会を開催
- ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供開始

3. 社会貢献

- ・一般開放（閲覧、貸出、施設利用）
- ・近隣団体、高等学校、大学附属幼稚園からの見学受入

4. 管理運営

- ・夜間開館（平日 21 時まで）
- ・学内諸部門と連携した多メディアによる情報発信（図書館サイト、大学サイト、Twitter、学生ポータル、学内掲示板、学内デジタルサイネージ、学生食堂掲示板等）
- ・図書館広報紙「mee 図」を学内掲示し、学生ポータル及び図書館サイトに掲載
- ・夜間開館時に、防災センターの警備員による巡回監視を実施
- ・カウンター内部に非常通報装置を設置
- ・新着図書展示用書架の設置
- ・大判プリンタの購入
- ・平日夜間（18 時から 21 時）のカウンター業務補助のため、学生アルバイト雇用を開始

1. 教育支援

- ・ 2013 (H. 25) 年度から 3 年計画でシステム化を実施中だが、まだ完成には至っていない。利用者にとって使いやすいシステムになるよう取り組み中である。

2. 研究支援

- ・ 2016 (H. 28) 年度から、図書館が研究紀要の事務局となると大学側から発表があった。

3. 社会貢献

- ・ 館長の許可した中学校・高等学校の授業のために、音楽関係資料の館内利用を認めた。

4. 管理運営

- ・ 引き続き校舎建替工事を行っているので、図書館は規模を縮小し運営している。
- ・ 新図書館の設備について、複数社に図面・価格提案をさせて検討をしている。
- ・ システム化途中であるが、入力されたデータが反映されていないというトラブルは相変わらず続いている。

1. 教育支援

○学習支援

- ・開館時間延長の試行（9：00 → 8：45）

○講習会等

- ・開催回数 31 回、参加者延べ 969 人 内訳は下記のとおり
新入生オリエンテーション（6 回：146 人 必修は計数せず）、
教員との連携（15 回：768 人）、図書館主催（2 回：38 人）、
オーダメイド（6 回：9 人）、地域対象（2 回：8 人）

○展示会

- ・開催回数：5 回

○ブックケアプロジェクトを財源に、はじめてのブックハンティングを実施

- ・81 冊（約 10 万円）

2. 研究支援

○リポジトリ（HAR P）

- ・コンテンツ登録（新規に紀要 15 件、報告書 4 件）
- ・ダウンロード数：195,625 件

○紀要

- ・16 巻刊行

3. 社会貢献

○トワイライト講習会

- ・開催回数：2 回、参加施設：3 施設、参加人数：8 人

○職場体験 ・阿品台中学

○大学祭参画 ・つりぼり

○ブックケアプロジェクト

- ・2016 年 5 月現在：266,197 円

4. 管理運営

○管理

- ・年次報告書作成

○蔵書構成

- ・学術雑誌アンケート実施
- ・視聴覚資料アンケート実施
- ・蔵書点検（不明 1 冊）

提出大学名： 比治山大学

1. 教育支援

- ・試験期（7・12・1月） 通常 9：00 開館を 8：30 開館とした。
- ・小学校教科書改訂に伴い、新教科書・指導書を整備。
- ・本学学生インターンシップの受入 1名5日間
- ・初年次セミナーへの協力（図書館利用案内）
- ・上級生向け文献検索指導の実施
- ・授業「世界と日本 A」において、三島由紀夫文庫をラーニングコモンズで紹介。
- ・授業「キャリアデザイン演習」において、新聞 DB の利用指導。
- ・図書館利用案内の作り替え（表紙は学生デザイン、写真は学生の撮影による）
- ・学生デザインのメモ帳作成
- ・学習サポートセンター共催で、英語基礎講座を 7/29～8/7 に開催（場所：LC 講師：学習サポートセンター教員）
- ・英語多読本（電子書籍）の購入

2. 研究支援

- ・電子 J、DB の図書館経費での購入。
- ・個人研究費、学科経費、科研の図書・雑誌の起案、発注、受入、登録、貸出
- ・紀要（大学および短大）の編集、発送。（紀要委員会の事務全般）
- ・機関リポジトリ（HARP）の登録。紀要等の他に教員の自費作成書籍をアップ
- ・リンクリゾルバ講習会（教員対象 無料トライアル対応）

3. 社会貢献

- ・中学生（姉妹校）の職場体験の受入 5名1日
- ・公開講座において、三島由紀夫文庫の紹介（図書館見学）
- ・比治山祭（大学祭）への参加 テーマ「JAPAN」アンパンマンクイズ実施、来場者のべ 1,000 人
- ・三島由紀夫文庫 Facebook 開設（管理は教員）

4. 管理運営

- ・ラーニングコモンズに、白板設置（黒板の塗り替え）
- ・書架の増設
- ・蔵書点検 3年目 終了（倉庫以外）除籍は次年度実施予定
- ・カウンターレイアウト変更（業務用 PC の配置換え）

1. 教育支援

- a) ゼミ・卒論コーナーの設置、
- b) ブックハンティングの実施(2回：10月、11月)
- c) ガイダンスの実施
 - ・図書館ガイダンス(入門ゼミ対象：実施時間 90分 46回実施)
 - ・文献ガイダンス(専門ゼミ対象：20回実施 232名)
 - ・留学生・院生対象ガイダンス(随時)
- d) ビブリオバトルの開催(2回：7月(参加者数 70名)、10月(参加者数 76名))
- e) その他
 - ・Webサービス Myページ(利用状況照会、購入希望図書申込ほか)

2. 研究支援

- 1) 電子ジャーナル、eブックの整備
 - Business Source Premier(EBSCO)、MOMW(Making of the Modern World.)、
 - GVRL(Gale Virtual Reference Library)、日経 BP、情報管理ほか
 - リンクリゾルバ SFX のトライアル開始
- 2) データベースの契約
 - ・18世紀英国・英語圏刊行物集成<Eighteenth Century Collections Online(ECCO)>新規
 - ・英国下院議会文書データベース(HCCP)
 - ・米国税制・経済改革 Online データベース
 - ・日経テレコン 21、聞蔵Ⅱ、ヨミダス歴史館、中国新聞経済データベース“ちゅーBiz”ほか
- 3) 機関リポジトリ
 - コンテンツ登録数 32件(紀要論文のみ)、

3. 社会貢献

- 1) 一般公開(登録制) ・学外者の利用可(無料)、
- 2) 中学校の職場体験の受入 ・祇園中学3年生8名(2日間)
- 3) 全国ビブリオバトル 2015～首都決戦～地区決戦の予選会を開催
発表者6名、参加者75名

4. 管理運営

特記事項無し

1. 教育支援

- ・ビブリオバトルの実施
- ・ブックハンティングの実施
- ・検索セミナーの実施
- ・学生アドバイザーによる、おすすめ図書を紹介するシステムの開発(未稼働)
- ・教員への選書依頼の実施(冊子、電子)

2. 研究支援

- ・英語論文の書き方セミナーの実施

3. 社会貢献

- ・図書館総合展ポスターセッションの参加

4. 管理運営

- ・カビ除去の実施
- ・図書館システムの更新
- ・貸出用 PC の更新

1. 教育支援

a) サービス等

- ・開館時間延長（前期・後期の試験集中期間期、国家試験約 1 ヶ月前、東広島本館・呉分館にて延長）
- ・日曜、祝祭日開館（前期・後期の試験集中期間期、国家試験 1 ヶ月前、東広島本館・呉分館にて実施）
- ・一般教養図書、授業参考図書、国家試験対策等図書の充実
- ・ブックハンティング（2 回）の開催
- ・不要になった図書、消耗雑誌を利用者に無償で提供。
- ・読書マラソン（2 回）の開催
- ・図書館報の発行（2 回）

b) ガイダンス、各種講習会

- ・基礎ゼミナールでの図書館ガイダンスほか、各種図書館利用説明会を行った。

2. 研究支援

a) 電子図書の導入

- ・メディカルオンラインイーブックスライブラリーによる電子図書（2,020 冊）の導入。

3. 社会貢献

a) 地域貢献

- ・夏休み（8 月下旬 2 週間）こども図書館の開催（呉分館・広島分館）
- ・地域中学校の職場体験学習の受け入れ（東広島本館）
- ・大学祭でのイベント開催（結図祭-むすびさい-）
- ・大学祭こども図書館（7 月）の開催（広島分館）

b) 公共図書館連携

- ・東広島市立黒瀬図書館との合同展示イベント「くろせ・ひろこく交流図書館」の開催（東広島本館）
- ・東広島市立図書館との相互利用に関する取り決め
東広島市立図書館所蔵の図書に対してインターネット上で希望図書予約を行えば、本学学生・教職員・地域住民が本学図書館において図書の貸出および返却が可能となった。

4. 管理運営

a) 書架の耐震補強工事

- ・図書館呉分館の書架耐震補強工事および図書落下防止テープの設置を行った。

1. 教育支援

1) 学習支援

- ① 講義に関連した「専門図書」と「教養図書」を先生方に推薦してもらい、教員別に選定図書コーナーへ配架をしている。さらに、図書館ホームページでリストを公開した。
- ② 英語担当教員から推薦を受け、平成 27 年度は英語多読本を 161 冊追加購入した。（現在 694 冊所蔵）そして、図書館から英語担当教員に指導の参考として半期ごとに貸出統計を提供している。
- ③ 「聞蔵Ⅱビジュアル」のトライアルを実施した。（6/15～7/31）
「聞蔵Ⅱビジュアル」の導入を開始した。（3/23～）
- ④ 入学予定の高校生に課題として出された図書を取り揃え、専用コーナーを作って事前教育の支援をした。

2) 利用促進

- ① 新入生を対象にした図書館ガイダンスを行った。
- ② ふきだしカメラをカウンター前に設置した。ふきだしの中身については、図書館員も授業に参加して、アイデアを出した。
- ③ 図書館懸賞作品コンクールをゼミの課題と協働で行っている。

2. 研究支援

- 1) 雑誌、電子ジャーナル、データベースの導入希望アンケートを実施して、図書館運営委員会で検討をした。
- 2) 教員の要望により“Social Sciences Full Text”の学外利用を可能にした。
- 3) 学内紀要論文の編集に携わり、広島県大学共同リポジトリで全文を公開した。
- 4) 学位論文を蔵書として保管し、広島県大学共同リポジトリで全文を公開した。

3. 社会貢献

- 1) 学外の利用者が年々増加傾向にある。（平成 27 年度入館者：830 人、貸出冊数：630 冊）
- 2) 大学祭で古本市、クイズラリー、ビデオ上映をした。尚、古本市の売上金は図書の購入、スタンプラリーの景品、学内美化に使用した。

4. 管理運営

製本雑誌の遡及や蔵書点検を定期的に行い、蔵書数の確認作業をしている。

1. 教育支援

①教育支援

- ・「修大基礎講座（正規授業）」の教案見直しとテキストの改訂。
授業は全 9 回実施、1227 名受講。
- ・「文献検索ガイダンス」前期 25 回、後期 15 回実施、584 名受講。

②学習支援

- ・「英語リーダーズ」を使った多読キャンペーンを実施。
クラス、個人単位での実施で参加者は 52 名。5 万語超え 5 名を表彰。
- ・「学内ブックハンティング」を実施。4 日間 414 名参加。
「学外ブックハンティング」を実施。24 名参加。

2. 研究支援

- ・学術リポジトリへの博士論文掲載。
- ・データベース講習会を 6 回実施。内 1 回は外部資金申請と関連づけて実施。

3. 社会貢献

- ・職場体験学習の受入（中学校 2 校）
- ・「全国大学ビブリオバトル 2015 京都決戦学内予選会」を実施。広島地区大会参加。
- ・「全国高等学校ビブリオバトル 2015 中国大会」を主催。

4. 管理運営

- ・図書落下防止シートの設置を 2014 年度から年次計画で整備中。2 年次目。
- ・危機管理のマニュアルを改訂し、第 1 回は夜間、土日を想定した避難訓練、第 2 回は AED を使った救急訓練を実施した。
- ・図書システムを見直し、Web 版クラウド形式への移行を進めた。
- ・書庫増設に伴い、資料を移設。

1. 教育支援

(a) 学習環境

- ①「ラーニングコモンズ HJU」のリニューアル（飲食可能なスペース、共同学修スペースの確保）
- ②インターネット専用パソコン 5 台に Office をインストール

(b) 利用者サービス等

- ①学修支援の強化（「ラーニングコモンズ HJU」の共同学修スペースでの講義、個別支援等）
- ②ラーニング・アドバイザーの指導強化（特別専任研究員追加）
- ③図書館と業者によるクリスマスイベント実施（期間中に本を 10 冊借りた学生にノベルティをプレゼント）
- ④図書館ホームページリニューアル（利用しやすい情報検索ページの作成など）

(c) ガイダンス等

- ①「初年次セミナー」の授業時に、図書館見学ツアー・図書館ガイダンスを新入生全員に実施
各学科論文作成のためのガイダンス実施、各種データベース・ガイダンス実施
- ②「情報サービス論」の授業時に「実際に図書館の実務をやってみよう！」というテーマで
貸出・返却処理、装備、配架処理等の実務体験を実施
- ③「図書館情報技術論」の授業時に図書館業務で使用している情報機器についての説明を実施

2. 研究支援

- ①Summon Web Scale Discovery Service、RefWorks 導入
- ②朝日新聞記事データベース聞蔵Ⅱビジュアル、ジャパンナレッジ Lib 導入

3. 社会貢献

- ①栗原貞子記念平和文庫資料閲覧サービス提供（新聞社、研究者対象）
- ②「よるのとしょかん」（ぬいぐるみの図書館お泊り会）

4. 管理運営

図書落下防止シートの設置完了（2013年度～2015年度）

1. 教育支援

- (1) 前期試験期間中の開館時間 1 時間延長 (宇品図書館 2 週間)
- (2) メディカルオンライン e ブックスのトライアル (3 ヶ月間)
- (3) 購読新聞種類増 (宇品図書館：2 紙) … 「教育新聞」 「日本教育新聞」
- (4) 購読雑誌種類増 (宇品図書館：11 タイトル 西風図書館：2 タイトル)
- (5) 図書館内での授業の実施
- (6) ガイダンスの実施
 - ・ 新入生オリエンテーション
 - ・ データベース利用ガイダンス

2. 研究支援

- (1) 電子ジャーナル・データベースの新規追加 (「CINAHL Complete」)
- (2) ジャパンリンクセンター準会員参加申請を行い、学術機関リポジトリに登録する学術誌への DOI 付与を開始

3. 社会貢献

- (1) 職場体験の受け入れ
- (2) 大学祭にてビブリオバトル開催

4. 管理運営

- (1) 雑誌の製本を開始
- (2) 製本雑誌書棚の設置
- (3) 学生ボランティアの受け入れ (館内展示)
- (4) ブックハンティングの開催 (年 2 回)
- (5) 図書館主催イベントの開催
 - 読書感想文コンテスト、ビブリオバトル、イチオシ本 POP 大賞
- (6) 図書館報「ぶらりっと通信」の発行
- (7) 授業との関連展示等のミニ展示の実施

1. 教育支援

- a) 電子黒板や可動テーブル等を備えたラーニングコモンズの設置 (阿賀)
- b) 文献検索ガイダンス (看護研究・看護実習) の実施。24 回 558 名 (阿賀)
- c) ラーニングコモンズのガイダンス (BIGPAD 利用方法) 実施。11 回 51 名 (長束)
- d) 初年次セミナー図書館ガイダンス実施。12 回 100 名 (郷原・坂)
- e) 選書ツアー実施 (坂)

2. 研究支援

- a) 広島県大学共同リポジトリ (HARP) 参加
(コンテンツ数累積:755 件 ダウンロード数: 141,834 件)
- b) 博士学位論文のインターネット公表に関わる手続きの制定 (全キャンパス合同)
- c) 外国雑誌データベース選定調査実施 (阿賀・長束)

3. 社会貢献

- a) 学生・教職員・地域の皆様がともに学ぶオープン・コモンズ完成。地域住民の方々を迎え、健康講座を開催 (阿賀)
- b) 地域住民への図書館開放。貸出人数 818 名 3,637 冊 (長束)
- c) 地域の中学生就業体験受入 (阿賀:2 名) (坂:1 名)

4. 管理運営

- a) 学生参画ポスター作成による学生人気図書の展示 (阿賀)
- b) 学生ボランティアスタッフによる図書選定, 書架整備開始 (長束)

1. 教育支援

- a) 学習環境の整備 実習貸出、長期休業貸出
- b) 各種講習会 授業（新入生全員）ゼミ対象ガイダンス（7回 47名）
- c) ブックハンティング実施（2回 費用：15万円）
- d) 知識の森（図書館利用促進イベント）、すずらん賞（読書週間関連イベント）の実施
- e) 各種展示 特集コーナー：6回
- f) 電子書籍の購入

2. 研究支援

- a) 研究用図書の管理 研究室貸出資料の点検
- b) 機関リポジトリ 研究紀要の登録

3. 社会貢献

- a) 図書館の一般開放

4. 管理運営

- a) 利用者アンケートの実施
- b) 蔵書点検（全館・研究室貸出資料・教室貸出資料）
- c) 被災資料の除籍処理

1. 教育支援

- ・アクティブラーニングスペースの拡大
- ・図書館学生ボランティア(図書館倶楽部)の活動支援
企画展示 / ビブリオバトル開催 / 書架整理 / 閲覧業務補助 / 図書館キャラクターの作成
- ・図書館倶楽部メンバーの学生図書館協働交流シンポジウムへの参加、成果発表の実施
- ・学生の読書力アップのシステム構築
『新入生にすすめる 50 冊の本』を刊行し読書活動を促進
全国大学ビブリオバトル広島地区予選会参加
- ・ガイダンス実施(新入生オリエンテーションの実施)
- ・学生の相互貸借料金を無料化

2. 研究支援

- ・館内研修(データベース利用講習会)を実施
- ・データベース利用講習会開催(PsycINFO, eol)
- ・新規データベース(JapanKnowledge, eol)導入
- ・学術情報リポジトリにより研究成果を発信

3. 社会貢献

- ・地域住民への図書館開放
- ・大学祭で館内にある EU 情報センターに因んだクイズを実施(景品は EU グッズ・雑誌雑誌付録)
- ・地元小学校の生徒を案内
- ・中学生・高校生の職場体験受入
- ・図書館セミナー(本学教員が講師を務めるセミナー)を館内ラーニングcommonsで開催)
- ・市民大学の講義の場所を提供

4. 管理運営

- ・図書館入口絨毯の張替
- ・館内模様替え(アクティブスペースを拡張し、サイレントスペースと区分)
- ・図書館利用者アンケートを実施
- ・平成 28 年度は利用者アンケートの分析を行う
- ・図書館ホームページリニューアル
- ・キャレルデスク照明を引き続き整備
- ・図書館ホームページに図書館活動報告を公開
- ・館長、分館長参加の館内ミーティングを週に 1 回実施
- ・アクティブラーニング活性化に向け教員 F D を企画(予定)大学教育センターとの連携(課題)

1. 教育支援

- ・ラーニングコモンズ(2 部屋) 設置
- ・貸出冊数の変更 1～3 年生 3 冊から 5 冊に変更
4 年生 5 冊から 10 冊に変更
大学院 15 冊のまま変更なし
- ・開館時間の延長 平日 8：30～19：00 を 8：30～19：30 に変更
土曜日 8：30～15：30 を 8：30～16：30 に変更
- ・図書館オリエンテーションの開催（授業の一環として）
- ・教員が学生に読んでほしい図書を選定し、購入。（平成 27 年度は約 1100 冊）

2. 研究支援

- ・びんご経営リサーチセンター用の資料を整備

3. 社会貢献

- ・一般利用者の受入（2 週間 3 冊まで図書を貸出）
- ・中学生・高校生の職場体験の受入

4. 管理運営

特になし

1. 教育支援

a) 学習環境

- ・グループ利用研究室 3, 閲覧個室 4, 閲覧席 550 (在籍学生 4, 442 名)
全閲覧席エリアで無線 LAN 利用可
- ・授業参考図書を前期、後期ごとに授業参考図書コーナーに展示
- ・教員出版物コーナー(教員の自由意思で学科別教員別に 1 名 4 冊までの著書を展示)展示

b) サービス・イベント等

- ・図書館がイベント 新入生ゼミ生を中心に指導教員の依頼を受け 5～6 月、9 月が中心
前年並み 40 回弱、受講者数約 1, 000 人
- ・図書課程実習(県立図書館、広島市立図書館実習外の約 40 名を 5 週に分け実習)
実習体験に**蔵書点検作業**を折込み(夏期利用者が少ない時期・図書館にも有用)
- ・図書館展示 前/後期に分けテーマに沿った蔵書を展示
- ・選書キャンペーン(ブックハンティング) 夏期休業中、後期開始前に実施 3 年目
学科均等に 40 名が 1 名 3 万円まで選書可

2. 研究支援

- ・DB JIJI-Web, JDreamIII, 医中誌, PsycARTICLES, SciFinder, メディカルオンライン
- ・EJ ACS, Wiley, サイエンスダイレクト(生化学・薬学パッケージ)
- ・造形デザイン学科(H28.4 開設)用図書資料購入
- ・**稲賀文庫図録**発行(H28.3 発行、前年発行した稲賀文庫目録に続くものとして発行)

3. 社会貢献

- ・高3/保護者大学説明会、オープンキャンパス、高校生見学等来学者の図書館見学対応
- ・安田学園幼稚園園児 夏季お泊り保育時の絵本貸出や図書館利用に対応
- ・安田学園小学生 大学見学の際に大学図書館見学対応

4. 管理運営

- ・図書館運営委員会 各学科 1 名の委員から構成する委員会を開催し図書館運営に関する事項を審議、購入図書は館長直属の選書選定委員(教員)の選書決定手続き要。
- ・館員 15 名(職員 4、専門職員司書 3, 司書パート 3, 業務パート 5)他にインターシブ 大学院生
- ・開館時間 授業期 月～土 8:30～21:00 休業期 9:00～18:00 269 日開館

1. 教育支援

a) 学習支援・利用案内

- ・新入生図書館利用説明会・館内見学（参加者 499 人）
- ・利用者講習会（①文献探索、CiNii 講習会（5 月）、②SciFinder 講習会（6 月）、③JDreamIII・Web of Science 講習会（10 月））

b) 広報活動

- ・学生選書の会（7 月、10 月）、ブックハンティング（12 月：広島）で 440 冊受入
- ・継続雑誌アンケート調査実施（回答数：101 件）

c) 図書館システム運用

- ・指定図書（教科書）の情報提供
- ・入館ゲートの図書館システムと連携
- ・システム更新（H28.3、E-Cats V4 から V5 に）

2. 研究支援

a) 電子ジャーナル・データベース・電子書籍

- ・冊子体から電子ジャーナルへの変更（26 タイトル）
- ・電子書籍（Maruzen eBook Library）導入開始（428 点）

b) 工学部研究報告（No. 49）、工学部紀要（No. 45）発行

c) 近畿大学学術情報リポジトリ

- ・学園独自の機関リポジトリを平成 28 年 4 月から JAIRO Cloud へ移行

3. 社会貢献

a) 地元中学校（高屋中学校）の職場体験受入

b) 高等学校、企業、地元団体等の施設見学案内

4. 管理運営

- ・早期開館の対応（9:00 開館を 8:45 開館に、試験期間中は 8:30 開館）
- ・耐震対策（3 階書架連結）
- ・工学部図書館ホームページ刷新（スマホ対応他）

1. 教育支援

当校は全寮制であることから、学習の場と生活の場が一体となっている。学生・研修生は、起床から就寝まで授業を含め、決められた時間割で過ごしている。

このような状況にあつて、学生・研修生が自由な時間となる平日午後 7 時から午後 9 時 45 分までの間、土曜日、日曜日及び祝日の開館時間外であっても図書館を利用することができるよう、平成 21 年度から 1 階の一部を自習あるいは読書の場として開放している。

また、読書に親しむための取り組みとして、予算内という縛りはあるが、学生・研修生が読みたいと希望する新刊図書を平成 23 年度以降継続して購入し、開館時間外の開放場所に配架している。

さらには、本年 4 月から開始された、主として東南アジア各国の海上保安機関幹部を対象とした「海上保安政策プログラム（修士課程）」の受入れ準備として、書架の増設等施設面の整備等を行った。

2. 研究支援

平成 25 年 2 月から、広島県大学共同リポジトリに参加しており、平成 27 年 8 月からリポジトリ掲載のすべてのコンテンツに DOI を付与している。

また、研究用図書については、図書館で一括して購入発議、登録及び管理を実施している。

3. 社会貢献

貴重図書及び海洋法ライブラリーに関する問い合わせ、閲覧希望等への対応を実施している。

4. 管理運営

1. 教育支援

図書館 HP の開設

DVD 購入 (ディズニー・宮崎駿シリーズ)

入荷図書の表紙を掲示板にコピーして貼り出す

課題：利用者の低迷

2. 研究支援

紀要年 1 回の発行 (本学 HP にアップ)

CiNii の継続

3. 社会貢献

一般開放 (平成 27 年度 44 名の来館者)

4. 管理運営

古い VHS 処分

エアコンの不調 (平成 28 年度 6 月着工)

取引業者の削減 (事務の簡略化)

図書の保管庫検討中

課題：蔵書点検

1. 教育支援

- 校外実習中の貸出冊数の増加・期間延長を実施
- 長期休業中の貸出冊数の増加・期間延長を実施
- シラバス掲載の参考図書を購入
- 教員と連携し、ゼミ生等への論文検索・DB 検索講習を実施
- 各学科の教員より学生へのお薦め本を毎月 1 冊お薦めコメント付きで展示
- いろんな分野の蔵書を紹介するため、毎月 1 つのテーマに基づいた図書を“特集コーナー”に展示
- ブックハンティング実施および購入図書の展示

2. 研究支援

特になし

3. 社会貢献

- 中学生の職場体験受入（3校）

4. 管理運営

- 新規購入図書一覧のポスターを作製掲示
- 邦洋画DVDを購入充実し、図書室へ利用を促進

課題

- 書庫の狭隘
- 蔵書の除籍

1. 教育支援

- ・ 新入生図書館利用ガイダンスの開催（4 クラス，留学生）
- ・ ブックハンティングの実施（年 2 回）
- ・ 教科書，シラバス掲載図書，希望図書，推薦図書の購入
- ・ 読書感想文コンクールの開催（年 1 回）
- ・ 試験前～期間中の開館時間延長（21:00 閉館）と日祝日開館（10：00-17：00）
- ・ 図書館を利用した授業への協力
- ・ 印刷用紙の無償提供

2. 研究支援

- ・ 退職教員等の返却図書の受入れ
- ・ 新任教員等への必要図書の研究室貸出
- ・ 『研究報告』誌の編集，発行（年 1 回）
- ・ インターネット予約貸出しサービス（県立図書館）の利用

3. 社会貢献

- ・ 一般利用者への公開，利用証の発行（貸出）
- ・ 学校見学会での図書館イベントの開催（8 月）
- ・ 学会誌の収集及び公開

4. 管理運営

- ・ 「図書だより」の発行（年 1 回）
- ・ 「図書館ミニブック」（学生向け図書館利用案内）の発行

1. 教育支援

a) 学習環境

- ・男女共同参画コーナーの設置
- ・英語コーナーの充実

b) 利用者サービス等

- ・COC 事業関連資料，学科推薦図書の整備
- ・校内作文・表現コンクールの実施及び優秀作品を図書館だよりに掲載

c) ガイダンスの実施

- ・新入生図書館ガイダンス（3 回 139 名）
- ・文献検索ガイダンス（1 回 21 名）

2. 研究支援

a) 研究紀要第 38 号の作成・編集

b) 研究用図書の管理

- ・退職教員の返却図書（約 300 冊）を整理

3. 社会貢献

a) イベント

- ・第 7 回ミニコンサート開催（観覧者 70 名）

b) 地域との連携

- ・図書館一般利用者への図書館だよりの送付（年 2 回）
- ・地元の美術同好会などが描いた絵画・書道作品を館内等に展示

4. 管理運営

a) 複本図書の廃棄（約 2,200 冊）

b) 学生雇用開始 12 月～ 専攻科生 6 名（平日夜間・休日）